

『高圧ガス容器の設置場所と温度上昇』



高圧ガス容器は40℃以下に管理するよう決められていますが、夏の暑い日にはどのようにすべきでしょうか。一般的に容器が設置される状況を想定して真夏日での容器の温度と安全弁の作動を調査しました。

液化炭酸ガス容器、HCFC22 容器を直射日光のアスファルト床面、シート掛け、よしず掛け、車中で輸送の4条件で容器温度の調査、安全弁の作動の状況を確認しました。通風のあるよしず掛けは効果的ですが、他の設置場所はいずれも高温になり安全弁が作動しますの注意が必要です。

価格 **4,637** 円(税抜) ※ 実験報告書添付、送料別

収録時間 約 11 分

お申込は下記用紙にご記入の上 FAX、又はお電話でも受けつけております。

『高圧ガス容器の設置場所と温度上昇』			
ご注文日	令和 年 月 日	ご入用数	枚
ご購入事業所名		ご担当部署・氏名	
ご住所連絡先	〒 - TEL () FAX ()		
お支払方法	<input type="checkbox"/> 現金書留等 <input type="checkbox"/> 振込 りそな銀行 大阪営業部 普通口座 6246471 一般社団法人 大阪府高圧ガス安全協会		

本用紙をお送り頂きましたら、「価格」と「送料」を記した請求書をお送り致します。
振込の場合には振込証明書のコピーを FAX ください。DVD と報告書をお届けします。

お問合・お申込
はこちらから

一般社団法人 大阪府高圧ガス安全協会 〒541-0047 大阪市中央区淡路町1丁目4-10 森井ビル2F
TEL **06-6229-1236** FAX **06-6229-3741** e-mail.info@daiankyo.or.jp